

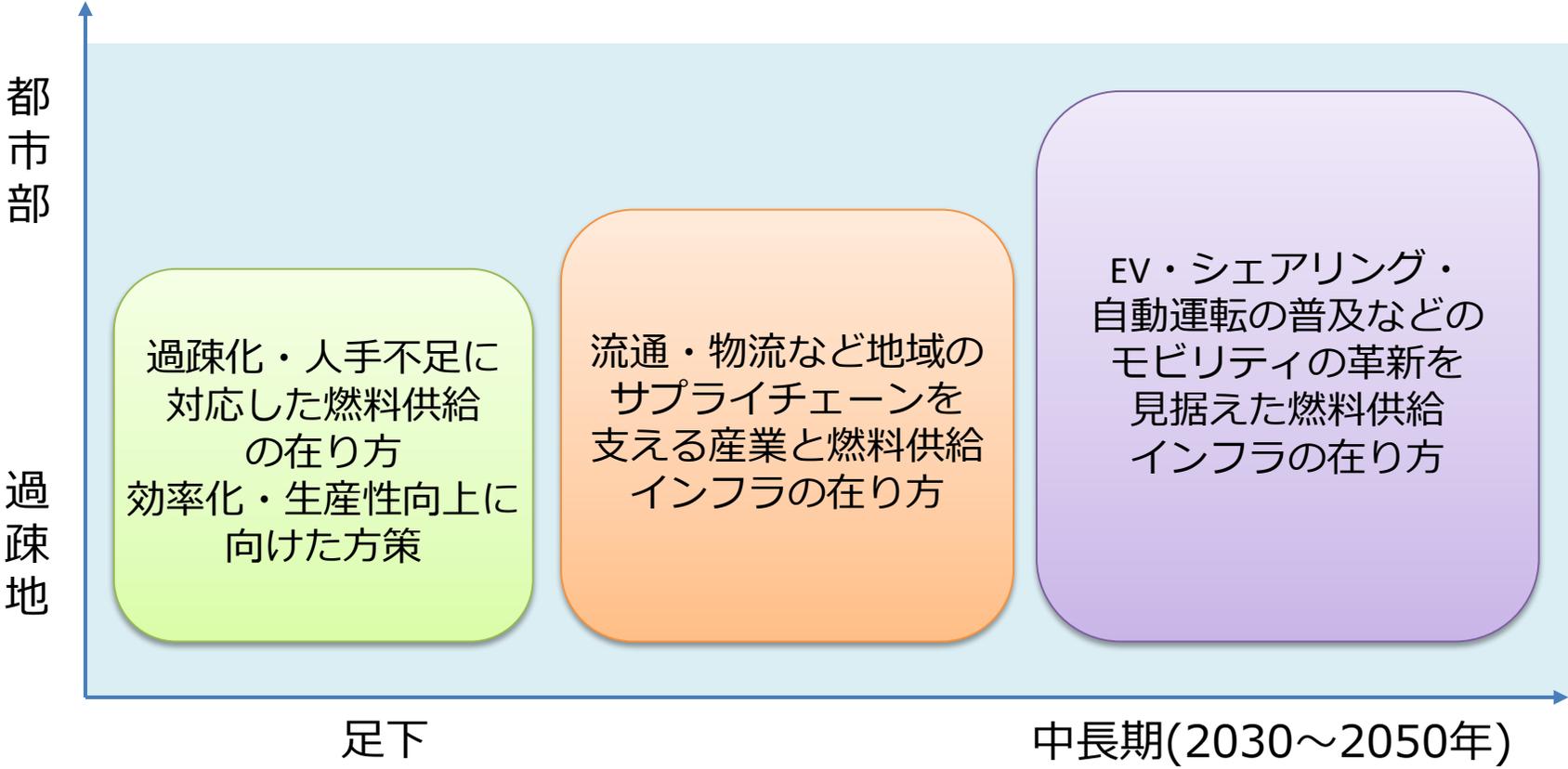
前回の議論を踏まえた論点整理と 本日の検討課題について

平成30年3月16日

事務局

論点整理①時間軸(足下/中長期)や地域(過疎地/都市部)の整理について

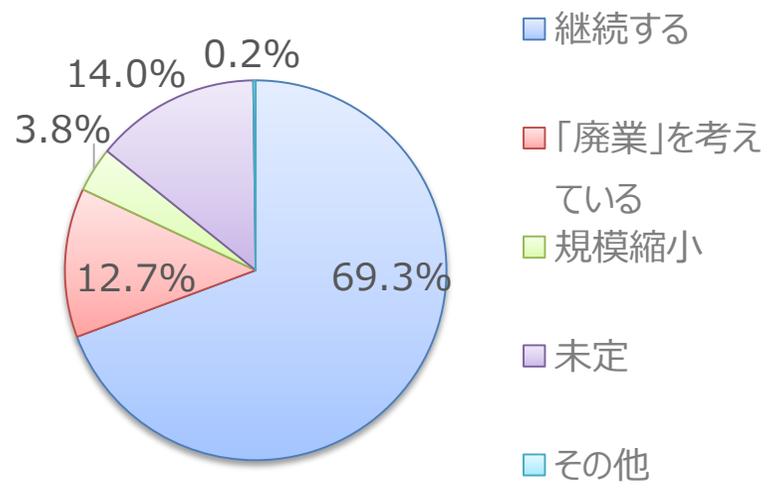
- 3つの構造変化の実社会における顕在化のタイミングを踏まえると、各検討テーマの時間軸は以下のようなイメージではないか。
- これらの変化は過疎地を中心とした地方から顕在化してくる可能性を踏まえると、本研究会では、まずは主に過疎地を中心とした地方を念頭に議論してはどうか。(ただし、都市部においても当てはまる論点もあることに留意)



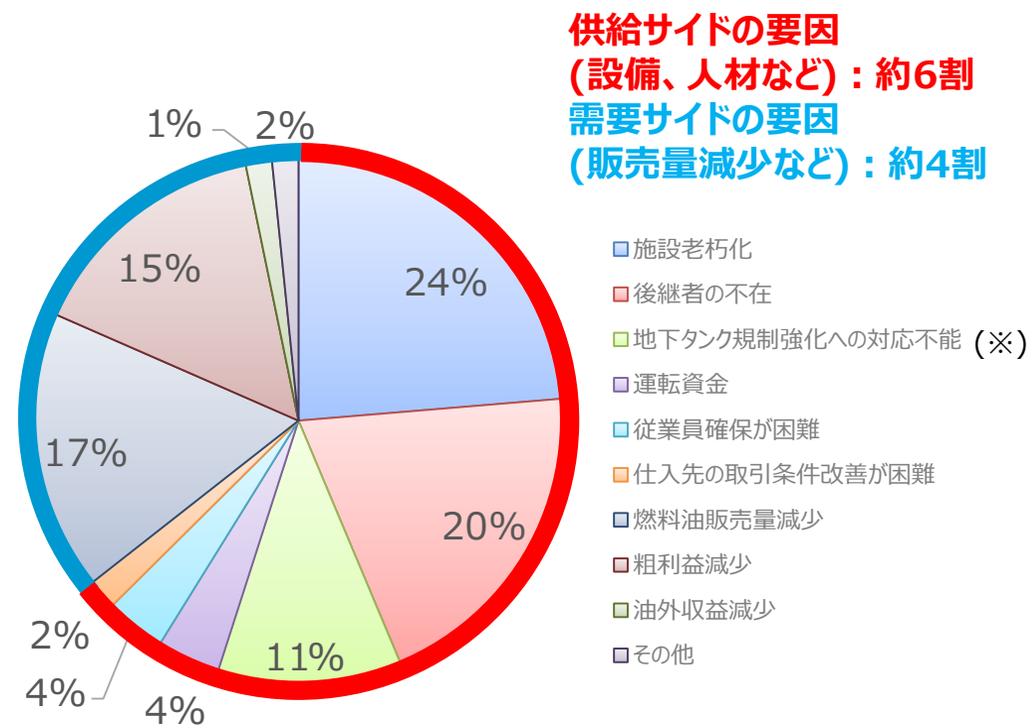
論点整理②SSの減少要因の分析について(需要サイド/供給サイド)

● SSの減少要因については、供給サイドの要因（設備、人材など）が約6割、需要サイドの要因（販売量減少など）が約4割。

【今後の経営方針】



【廃業の理由】



供給サイドの要因
 (設備、人材など) : 約6割
需要サイドの要因
 (販売量減少など) : 約4割

【出所】全国石油協会：平成29年度石油製品販売業経営実態調査
 ※平成29年6月末時点で揮発油販売業を営んでいる全国10,000社に対する調査(回収率は約25%)

※ 既存の多くの地下タンクは消防法規制により、40年目又は50年目までに漏えい防止対策のための補強又は入替を行う必要。

本日の検討課題について

過疎地や人手不足に対応した燃料供給の在り方、燃料供給インフラの効率化・生産性向上に向けた方策

(過疎化への対応)

- 過疎地等では、需要減少に加え、コスト面の課題により、燃料供給インフラの維持が困難になっている。こうした地域において燃料の安定供給を確保するためには、供給手法の多様化も含めインフラ維持コストの抜本的な低減に向けた方策の検討が必要ではないか。

(人手不足への対応)

- 深刻な人手不足により、今後ますます燃料供給インフラの維持が困難になることが予想されることから、テクノロジーの進展も踏まえて、安全性と効率性を両立させた燃料供給の在り方を追求すべきではないか。

(生産性の向上)

- 燃料供給インフラの効率的維持と生産性の向上に向けては、燃料供給にとどまらず、地域のニーズに応じ、幅広い生活サービス拠点として付加価値を提供していくことが必要ではないか。